



御調高等学校の生徒が、呉市の小学生へ ソフトボールの楽しさを伝えます！

広島県立御調高等学校男子ソフトボール部の生徒25名が、ソフトボールの魅力を発信するため、呉市立昭和中央小学校を訪問しソフトボール教室を開催します。本校では、第2学年の総合的な探究の時間（まなびのとびら）において、個人が興味・関心を持つマイテーマを設定し、自分自身の生き方や在り方に関する探究活動を進めています。その中で、「もっとソフトボールの楽しさを体験してもらいたい」、「競技人口を増やしたい」、「御調を知ってもらいたい」、「ソフトボール普及活動を通して母校（呉市立昭和中央小学校）に恩返ししたい」という生徒の思いが結実し、この度の活動につながりました。

今年度の全国高等学校総合体育大会ソフトボール競技大会において初の準優勝を果たした御調高等学校男子ソフトボール部員25名が、実演も交えながら安全に楽しくソフトボール教室を開催します。御調高生の活動をぜひ取材にお越しください。

- 1 日時 令和6年9月26日(木) 13時40分～15時15分
- 2 場所 呉市立昭和中央小学校 グラウンド
(呉市焼山中央4丁目1-1)
※雨天時は同校体育館で行います。
- 3 参加者 男子ソフトボール部生徒 25名
(第3学年7名、第2学年9名、第1学年9名)
※うち、第2学年 山縣 柊介（やまがた しゅうすけ）は
呉市立昭和中央小学校卒業生

